

外国語・外国語活動部会

意欲を引き出す単元のゴール設定とその評価方法

■研究内容

- ・児童生徒の意欲を引き出す単元のゴール設定と評価方法を意識した授業実践を行う。
- ・児童生徒が意欲を持って取り組める活動やICTを活用した授業実践例の共有を行う。

■研究成果

- ・ロイロノート上でのカードの並び替えやそのカードを用いた言語活動を行うことで、スピーチの構造理解の足場かけを行った。どの児童もカードを基に言語材料に慣れ親しみ、プレゼン内容を吟味することができた。
- ・児童生徒が必然性を感じ、自分事として取り組もうとする言語活動について考案することができた。



特別支援教育部会

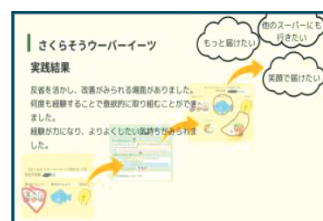
主体的な学びと課題解決力を育む授業づくり ～ICTの効果的活用を通して～

■研究内容

- ・総合的な学習の時間等の実践事例の紹介と共有
- ・児童が主体的に課題解決に取り組めるようなICTを活用した授業づくり（研究授業）

■研究成果

- ・各学校での授業の組み立て方や実践を共有することで、その取組を取り入れた指導や手立てとして生かした授業を行うことができた。
- ・子供たちが、より自分事として考えられるような課題設定を行うことができた。ICTを効果的に活用することで、児童の考えを可視化したり、視覚的な補助として活用したりすることができた。



リーディングスキル部会

主体的な学び手になるための汎用的読解力

■研究内容

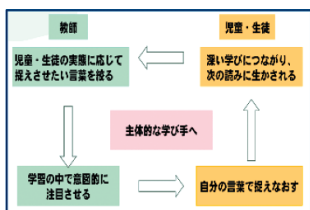
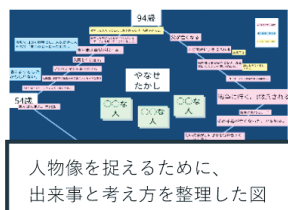
- ・RSの視点と具体的な指導法の情報収集、情報共有
- ・RSの視点を基にした授業研究、実践の共有

■研究成果

- ・RSTの視点を活用することで児童生徒が文章を読む視点を獲得し、主体的な学びにつながっていくサイクルが以下のとおりであることが分かった。

【教師】RSTの視点を基にした児童生徒の実態の把握→捉えさせたい言葉の焦点化→意図的に注目させる授業構成

【児童生徒】→言葉にこだわった読み→自分の言葉で捉え直し、まとめる活動→他の文章を読むときに生かす（→教師の実態把握に戻る）



PBL・STEAM教育部会

STEAM教育とPBLの融合 ～こどもまんなかの実践を通して～

■研究内容

- ・小・中学校におけるSTEAM教育の捉え方
- ・カリキュラム・マネジメントの視点から考えるPBL・STEAM教育（各教科等での実践）
- ・PBLにおけるテクノロジーの活用方法

■研究成果

- ・単元配列表を作成し、活用することで、教科等間のつながりを整理することができ、資質・能力を効果的に育むことができる。
- ・各教科においてもPBLやSTEAM教育の要素を取り入れていくことで、教師が単元を貫く授業を見通し、目指す資質・能力の育成につながる。

